

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和7年4月14日(月)～令和7年4月20日(日)【令和7年第16週】の感染症発生状況

第16週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 流行性角結膜炎でした。

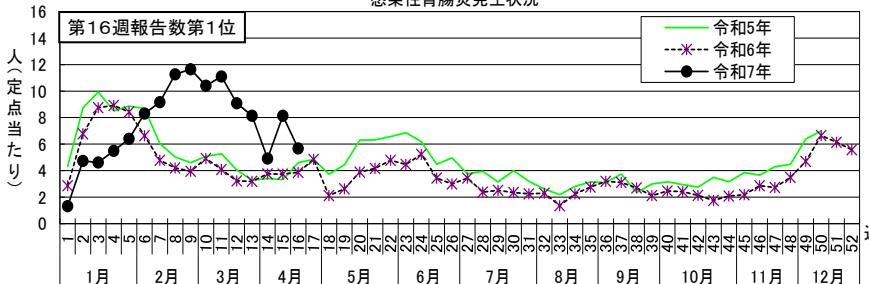
感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は5.67人と前週(8.14人)から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は3.19人と前週(3.14人)から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は2.33人と前週(1.33人)から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況

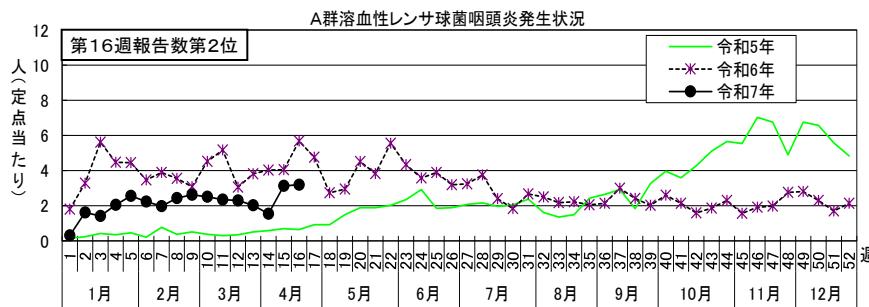


急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスが始まりました！

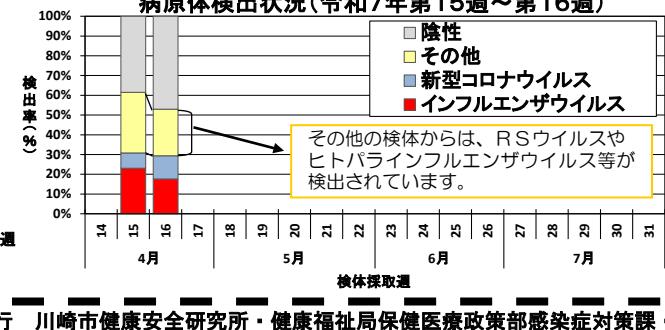
我が国では、令和7年4月7日から急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスが開始されました。本サーベイランスは、ARIの動向を把握すること及び未知の呼吸器感染症が発生した際に迅速に探知することを目的としており、「咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例」の数をARI定点医療機関から御報告いただいています。川崎市における定点当たり報告数は、第15週(4月7日～13日)は54.65人、第16週(4月14日～20日)は69.38人でした。

また、病原体定点医療機関からはARI患者の検体を御提供いただいており、健康安全研究所において病原体の検査を実施しています。第16週までに計30件の検体が搬入され、インフルエンザウイルスや新型コロナウイルスのほか、RSウイルスやヒトパラインフルエンザウイルス等が検出されています。

川崎市における急性呼吸器感染症の発生状況(令和7年第15週～第16週)



川崎市における急性呼吸器感染症の病原体検出状況(令和7年第15週～第16週)



川崎市
KAWASAKI CITY

川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健医療政策部感染症対策課
各区役所地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)
(問合せ先) 044-276-8250 令和7年4月22日作成